



発行所 青山同窓会  
新潟市関屋下川原町二  
新湯高校内  
発行人 斉藤希弼  
印刷所 オリオン印刷機

### 創立80周年

## 記念式典 十月十二日挙行

会長 鍵富清一郎



皆さん 母校の創立八十年おめでとうございます。八十年というながい歴史の積み重ねのうちに、母校そのものも大きく変わりました。昭和二十九年の火事で全焼したりしたこともあって、校舎も三たびそのたびに新しく生まれ変わって現在に至りました。その間に送り出した卒業生も一万六千人を越えておりますし、母校の果たした役割の大きさは言葉に尽せても

## 茫漠たり八十年

幹事長 斉藤希弼

◇ 大正十一年、私は旧制新潟中学校、年生として、創立三十周年に巡り合わせました。それから数えても既に五十年。昔流にいえば、人生五十年を二丁あげたことになる。何たるその間(かん)の時のながさよ。そしてまた、何たるその流れの瞬間にも似た速さよ。碌々たる卑小な試行錯誤の人生に明け暮れた想いである。いわんや八十年の歴史は、遙かに茫漠として捕捉しがたい距離と重さを以て、時に重苦しく感慨を掻き立てるばかりである。母校を巣立って行った同窓は一万六千人、個人としてのそれぞれ

来た。会報特集のアンケートに寄せた諸友の在校時代の恩恵への追慕や友情を憶ふ思い出を、一読すれば、その消えやらぬ真率な感動に胸打たれずにはおられない。◇ 私は、今この原稿を新潟大学附属病院外科の病室で書いている。二月十九日以来の入院生活である。退院直前であるが、おそらく総会には間に合わないだろう。

## 創立記念日の思い出

学校長 菅原久夫

私の郷里は石川県で、卒業したは城下町で、三中が港町という中学校は七尾中学校である。もとは石川県立第三中学校といっていた学校である。金沢の一中、小松の二中、それに七尾の三中という年の時三十周年の記念式があったことであつたらしい。一中、二中、三中、今年七十三周年になるのがあります。創立記念事業も立派な案が出来まして、多くの卒業生の皆さんから続々募金を寄せて下さっていることを喜んでおります。皆さんと力を合わせて立派に記念事業を完成させたいと願っております。どうぞ一層のご協力をお願い申し上げます。



死に一生を得て地獄の一丁目から引き返すことができた。正に九回裏の逆転ホームランを打って、ただいたわけである。青山同窓会は、役員諸兄の無償の献身と会員諸友の協力の賜もの

るのであろう。したがって新潟中学校より七・八年遅れて建てられた中学校ということになる。加賀藩が幕末の頃時流遅れなため洋学校を創ることを考えていたが、保守的な金沢の町では反対が多く、結局できたのは、当時加賀藩の造船所があり、保守派の勢力のうすい七尾ということになったらしい。この洋学校には、加賀藩の秀才が集り、卒業生から科学者が多く輩出したとことである。数学の菊池大麓、化学の高峰謙吉などがその代表者であつたらしい。明治の近代数学の創設者が菊池であれば、高峰は、アメリカのロックフェラー研究所で、ジスターゼの研究からビタミンの発見製造に成功した人である。他に明治時代の学士院の会長として科学界の指導に当つた桜井鏡一、世界の緯度観測所の中央局であつた岩手県の水沢の観測所長として画期的な観測方式を発見した木村博士も七尾洋学校出身であり、また日本海海戦当時の第三艦隊の司令長官の野村提督もそうであつたのである。創立三十周年の時ぶん古い先生や、先輩のえらい人から、ずいぶんそんな話を聞かされ、七尾洋学校の流れをくむ七尾中学校の生徒の発奮を求められた。今から思うと、七尾洋学校の創設の年を七尾中学校創設の年にしなかつたところ仲々面白いところがある。生徒として洋学校の話しを何回聞かされても別に発奮することがなく

で、近來飛躍的に成長発展した。今後も同窓の結束と連繫は益々固く、相互の親睦と交流は愈々深く成りまさつて行くにちがいないしそれを心から願う。しかし多年裏方の一役を担つて来た私は、身心共に全く疲れ果ててしまった。まだ会長のお許しを得ていないが、是非とも休養をお願いしたい。私に倍する有能達識の士の手で、青山の土台骨がより強く固く支えられることを切に願う次第である。創立八十年 万歳ノ

毎日いたずらに興じ、町の餅屋で停学覚悟で、一コ一銭、一皿十銭の豆大福を食べることを無上の楽しみにし、お前たちは勉強しない馬鹿だ、怠け者だといわれて五年生になつて来た。しかし気がむければ、私は唐宋八家文や長恨歌を暗誦して、友達に威張つてやりたいたい茶目気もあり漢文に熟をあげたこともある。

そんなこともあり、三十周年記念式の時、生徒代表として答辞を読むことになった。いささか得意になつて美辞麗句を並べた名文(ご)を作り、当時の教頭で、漢文の先生でもあつた小和田毅夫先生(数年前の高田高校長)に提出したら、原文の面影もないう位真赤になおされて帰つて来た。その時先生のおっしゃるには、「君は辞句は知っているが、意味がわかっていない。」と。

式典当日のことは忘れたが、私は一生懸命に小和田先生の答辞を朗々と読みあげた。父は学校などに来たことのない人だが、当日だけ出てきて、私の名文に感心したらしい。日頃私の才能など信じていなかったのだが、その時から私に文才があることを信じこんだらしい。小和田先生の作とも知らないで。

その父も死んで十年。今年こそお盆に帰省して墓参をしたいと思います。そうしてはからずとも思い出した偽作の答辞のこと、したがって期待される才能の何一つなかつたことを報告したいと思います。

報告

東京青山同窓会

副幹事長

58 回 福田 満

去る六月二十(金)夜六時より  
東京駅八重洲口の丸ビルにて  
約二百余名の参加を得て、盛大な  
総会が催された。

はるばると新潟より、同窓会本  
部代表として、沢山 厳先生、校  
長代理、佐久間清一教頭先生、母  
校幹事の内山 厳先生、事務局の  
岩田さん、又、在京の旧職員、斎  
藤 勝、鈴木 要、小日向毅夫、  
佐野 元、大橋信夫、の諸先生方  
を来賓として、お迎えし、常任幹  
事、坂井俊一氏の司会で会は始め  
られた。

新会長 30 回山添直氏、来賓、沢  
山 厳氏のあいさつのおと、本日参  
加者中最長老、11 回卒の堀越郎氏  
の乾杯の音頭で懇親の宴の幕が開  
かれた。

今年の東京総会は、一昨年の総  
会以来二年振りでもあり、又、新  
しく選任された、山添会長、34 回  
山崎重三郎幹事長以下の新役員の  
もとでの始めての会である。

元最高議長、田中耕太郎氏も  
始めて出席され、女性会員、大学  
生会員の若手を始め、多数の参加  
が得られたことは誠に喜ばしいこ  
とであった。大学在學生、女性の  
会費を安くしたこともこれら諸氏  
の多数参加に結びついた様子であ

る。今回は又、70 才以上、25 回卒  
(大正七年)の大先輩を無料で、  
招待申し上げたのであるが、今後  
も學生と大先輩については、その  
方向にもってゆきたいものである  
若い力の盛り上がりの中で、東京  
に新旧会員が、約三百余名相集い  
氣勢をあげたのがつい昨日の様に  
思われるが、それが、本都新潟へ  
のよき刺激となり、昨夏、新潟の  
香港大総会実行への口火となった  
ことを思えば、さらに今後とも一  
層の発展を期したいものと決意を  
新たにしている次第である。

昨年中は、前年来の名簿発行やら  
諸々の活発な事業活動の財政的な  
あと始末をする意味と、今後一層  
の発展を期する財政的基盤の確立  
を最重要事業として、総会の開催  
は見合せ、基金の募金にその全力  
を投入してきた。各期幹事を通じ  
て広く、深く、募金の呼びかけを  
行ってきた。ここに一応予期通り  
の成果を挙げることができました  
とを報告申し上げておきます。  
然し、財政的基盤は、すなわち基  
金は多すぎて困る事はありません  
ので今後とも募金活動を継続して  
ゆきたいと思えます。未だご協力  
いただいてない会員のご協力を賜  
りたいものです。この昨年の活

五百名に迫る

通信制部会

去る三月十四日(火)恒例の青  
山同窓会通信制部会総会が小林百  
貨店食堂で行なわれた。

当日は相憎くみそのちろつく  
天気、これでは申込者の中にも欠  
席が出るのではと幹事を心配させ  
たが、定刻午後五時半にはほぼ席  
はうまり、阿部同窓会副会長より  
挨拶をいただくには満員の盛  
会となり幹事をほっとさせた。懇  
親会に先だちまず議事を山崎正一  
氏(六回卒)の司会で審議、四十  
六年度の決算および四十七年度の  
予算が賛成多数で承認された。

一月の郵便料の値上げは、手紙  
による連絡にだけよつてい  
通信制部会にとって大変な会計ビ  
ンチである。おまけに、印刷費  
も値上げは必定となると台所は火  
の車となりそう、数年前より本部

その現れの一つが同窓会が薄であ  
る。今まで毎年在校生の生徒名簿  
と共同で発行してきたが、学校会  
計の事情や同窓会員の激増により  
ついに今年度より生徒名簿と別  
て始めて同窓会名簿を作成するこ  
とになった。同窓会単独で発行す  
るとなると今後いろいろ困難な問  
題が出てくることにならうが、何  
とか会員で協議しながら乗り越え  
ていかねばならぬであらう。  
乾杯が終ると共に、待っていた  
とばかりに会場は一言に熱気につ  
つまれ、久方ぶりに会う友人・先  
輩・先生方と挨拶をかかず声に進  
行のアナウンスも消されがち、山  
田・阿部・鈴木の歴代主事先生を  
はじめ旧職員の先生方も数多く出  
席され、同窓の方も第一回卒業業  
新大助教田中栄一氏や四回の加  
藤 守氏など古顔も姿を見せ、準  
備した席が不足し立っていた人も  
多いほどの盛会であった。  
南雲昭三(校内幹事)

の集りの中でお互いの親密感が  
増し、さらに発展して、新幹線時  
代の、東京と新潟と、合同のクラ  
ス会も行なわれたとの報告もあり  
ます。今後ともクラスやクラブの  
集まり等が活性化してゆく様子で  
これら新しい動きの中から、東京  
青山同窓会としての一層の発展が  
期待されることをもって現況のご  
報告といたします。

飛躍する青陵健児  
県総合体育大会で  
目覚ましい活躍

八〇周年を迎える本年度、青陵  
健児は県総合体育大会兼インター  
ハイ県予選で目ざましい活躍をし

ている。各種目総合で県下一位とラグビー  
言われている。以下その結果をま  
とめ、今後の活躍を期待したい。  
陸上競技 (北信越大会出場)  
四〇〇米 単走 一位 宮村伸  
二 (2)  
一六〇〇米リレー 一位  
四〇〇米リレー 三位  
フエンスシング (全国大会出場)  
個人エペ 一位 稲川 純 (2)  
二位 大川義孝 (2)  
三位 佐藤昌高 (3)  
硬式個人 一位 羽鳥 理 (3)  
軟式 五位 熊谷寿男組 (3)  
ダブルス 中沢 聡 (3)  
バドミントン (全国大会出場)  
団体 二位  
個人ダブルス 二位伊藤俊輔 (3)  
坂上 昭 (3)



甲子園が期待されるナイン



バスケット (北信越大会出場)  
二 (2)  
高田高 73 (30) 26  
43 46 72 新潟高  
ポート (東北大会出場)  
(ナックルフォア) 三位  
卓球  
個人地区大会 三位  
個人、二位坂井浩 (3) (北信越大会  
出場)  
サッカー準々決勝  
白山高 2 新潟高 1

# 80周年記念事業募金状況中間報告

47. 7. 3. 現在

期別	目標額	入金額	期別	目標額	入金額	期別	目標額	入金額
27	10 <sup>万</sup>	76,000	45	25 <sup>万</sup>	178,000	65	20 <sup>万</sup>	27,000
28	5	135,000	46	25	175,000	66	15	0
29	5	55,000	47	25	12,000	67	15	22,000
30	10	103,000	48	25	184,000	68	15	92,000
31	10	5,000	49	25	253,000	69	15	0
32	10	159,000	50	25	270,000	70	15	3,000
33	10	137,000	51	25	222,000	71	10	41,000
34	15	153,000	52	25	286,000	72	10	2,000
35	15	196,000	53	25	105,000	73	10	5,000
36	15	188,500	54	25	155,000	74	10	0
37	15	129,000	55	20	60,000	75	10	2,000
38	20	273,500	56	20	187,000	76~79	10	通信
39	20	310,000	57	20	0			77,000
40	20	132,000	58	20	69,000			
41	20	70,000	59	20	0			
42	20	258,000	60	20	0			
43	20	0	61	20	101,000			
44	20	45,000	62	20	0			
			63					
			64					

まだ募金に着手していない期の幹事は至急開始をお願いいたします。  
 出費多端の折柄、恐縮ですが、未納の方は下記へご送金下さるようお願い申し上げます。

振替口座 新潟 4 4 5 5 番 青山同窓会  
 銀行口座 第四銀行 学校町支店 青山同窓会  
 現金 母校内 青山同窓会事務局

期 日 10月末日



創立 30 周年並改築落成祝賀会場

## 記念事業進捗状況

八十周年記念事業が各種進行中であるが、各部別にその計画の内容と進捗状況をご報告いたします。

### 青山会館

同会館建設については、すでに前号にわたり設計図、利用方法についてお知らせいたしました。

要は職員生徒の話合いの場として、また同窓会員の親睦をはかる場として、その利用価値ははかりれないものがあると考えられます。

現在、福田組の手で工事が進められ、古さと偉容を誇った土蔵もとりこわれ、整地も完了。やがて基礎コンクリート工事が始まるうとしております。なお竣工は十一月の予定です。

### 青山同窓会々員名簿

七十周年記念事業で出版された会員名簿の整備、改訂増補、新会員加入で当然着手された事業であるが、予想外に作業は困難を極めています。

このことについても、すでに先回号でご案内しておりますが、明治二十五年以来の本校の歴史を描く一大叙事誌の誕生が期待されております。不幸にも昭和二十九年の学校焼失により、歴史を物語る資料の大半が粉失し、編集は苦勞を

### 青山八十年記念誌

会費納入会員には無料で配布することを建前に、広告を掲載することになり、目下募集中でありますなるべくご応募いただければ、お願い申し上げます。完成は十二月中の予定です。なお、会員の方て任所身分等変動がありましたら事務局まで早急御連絡下さい。

### 歌碑建設

歌の選定もすでに終り、石井四一郎氏、小林智明氏の二努力で各方面との建立の具体的な作業が進行中です。建立する場所としては鍵富会長の意向で、前庭松林の中青陵健児の銅像とほぼ面する地が選ばれております。 選定選

### 記念式典

十月十二日(木)午前十時から十一時半までの予定で、本校体育館で

挙行されます。その際東京芸術大学出身三林氏の歌唱が催される予定です。終って午後十一時半から二時まで新潟市体育館で祝宴が予定されております。

更に記念式典に先立って記念行事の一環として、生徒を対象に、前進座公演になる「出雲の阿国」の観劇会が九月に予定されております。

## 昭和47年度職員異動

4月1日付

退職 齋川正敏  
 教諭 倉科彰夫

転入 武田和夫  
 教諭 新井高校より

齋川正敏先生 新潟中学校、新潟高等学校での通算二十七年にわたる教鞭生活に終止符をうたれて御退職。

巨体と鋭い眼で教鞭をふり英語指導に情熱を燃やしたジープ先生、長年の疲れか退職後健康を害され目下静養中。英語教育への執念は忘れられず、九月からは私設英語教室を開く予定とのことです。

倉科彰夫先生 新潟高等学校での二十年にわたる教鞭生活に終止符をうたれて御退職、ニューシランドにあらたに学研の場と新天地を求めて移住された。

転出 近藤俊之  
 教諭 三条工業高校定時制主事  
 教諭 片岡久  
 通信教諭 新井高校へ  
 通信教諭 小林正宏  
 事務主任 村山幸雄

主事 五百川八千代  
 白根農業改良普及所へ  
 実習助手 滝沢七美  
 新潟中央高校へ  
 実習助手 早福雪枝  
 新潟女子高校へ

教諭 葉葺公  
 新津高校より  
 教諭 長尾光雄  
 柏崎高校より  
 通信教諭 加藤圭介  
 長岡大手高校より  
 通信教諭 近藤 勲  
 長岡高校より  
 通信教諭 佐藤和彦  
 六日町高校より  
 通信主任 金子良男  
 指導課より  
 主事補 湯川みさ子  
 新採用  
 司書 鶴巻武則  
 実習助手 泉立図書館より  
 新採用 渡辺静子

現任所 (ニューシランド・ハミルトン) 市 国立ワイカト大学人文学部

# 80周年を迎えて感あり

## —アンケートにみる青春の日々—

当編集部では記念すべき八十周年を迎えるにあたり、各時代時代を青山で過ごしたそれぞれの思い出をたずねて、左記項目につきアンケートを求めたところ、各位より多数の返信が寄せられました。ここに協力を感じ、御礼申し上げます。

### 記

#### アンケート項目

一、「八十周年を迎えて感あり」を一言おきかせ下さい。

二、在学時代の最も強烈な印象を左記の項目についておきかせ下さい。

- (イ) 事件(問題) 行事について
- (ロ) 恩師について
- (ハ) 人物像について(先輩・同輩を問わず)

三、学校または在校生に対する希望。

旧職員 斎藤 勝

大正12年〜昭和6年在職

一、我が生涯と一体感あり。当校第一回卒が明治廿七年、同年の出生なれど、八十周年の本年は数え七十九、ほぼ歩幅似通う。七十周年は昭和卅八年十月十三日の式典のサイン帖に「御健在を祈る八十周年にも又どうぞ。三十五回卒業校勤務沢山巖」とあり。同君始め列席諸兄から祝福された祈が実現すると思へば、親近感一層切である。

二、(イ) 行事(臨時) 研究授業昭和四年度二年一組の国語「落錢を

拾う楽しみ」の参観授業あり。旧校舎階上玄關の真上二倍大の教室に県下中等校国語担任五十余名、題材は良寛の逸話。これが翌日の新聞で報道、「顔面神経がどうかして」などと外れた話題の取材あり。後年村松中学で良寛の愛称はこれに基づく。この組に長野書一君現立教大教授在籍。

二、(ロ) 「長野書一」職員室の大型角火鉢を囲んで長野教員、令息の勉強振りを御披露に及ぶ。『どうも君等の教え方宜しきを得て、文学にばかり熱心で困る』その父君は佐渡の養家がお医者、ご自身もが文科の専門、こは是非共ご子息に理科医学と進ませ、償いをして貰いたいところ。

二、(ハ) 「長野教員」職員室の大中央を急ぎ足で教室に向うO教員左手に書具、右手に指示用むら、何とこのむら杖にして左右に小刻みに振り動かす、其の体格も按摩の手探り宜しくあつて、「あ！これある哉」後に従う自身我ながら感嘆これを久しうする。

「名和校長」冬空の職員室、ストーブに手をかざして名和校長、総選挙に第一区佐渡郡出身山本農林大臣落選の報を痛嘆して「佐渡の人間は、バカですなア！大臣の本梯次郎を落して名もない者を筆づるとは」

33回 佐野賢一郎  
新潟交通運輸常務取締役

一、在学中、三千周年を体験したものとて、五十年をふりかえつ

ています。一〇〇周年を迎える日は、どんなでしょうか。

二、(イ) 大正十四年に起きた寄宿舎事件(そのときの反省が、その後私には役立っているように思われる)

二、(ロ) 二、三十周年の記念講演(今日のようなマスコミ時代ではなかった)

二、(ハ) 小島芳衛(スケトウ)先生、数学、ゲンコツを買った唯一人の先生

鈴木 諒(モンド) 先生、数学、齋藤栄治(シヤモ) 先生、体操教師、舎監長

師、一貫した主義みたいなものを感じた。

二、(イ) スポーツの選手が記憶にのこる。

33回 永井 蔵  
新潟大学人文学部教授

二、(ロ) 33回生は大正十年入学、十五年卒業、一学年百五十人の最後のクラス。立派な先生が揃っていました。校長は八木光貫先生、黒髪頼頭、鋭いが慈愛に満ちた目堂々たる体、全身を振り動かして絶叫される方が逸品でした。バンザイ校長というのが悪童たちの奉った尊称ですが、「酒のあとのお茶漬は珍味無類」など修身で教わりました。惜しいことに歯の治療がもとで在職中に急逝されました。端正な紳士のおとには野武士のような名和長正校長、半白の

髪を無造作に分け、白い歯をむき出して生徒を見渡し、太ったおなかを叩きながら「腹をazole腹をazole」と講壇から呼びかけられました。それが修身でした。植樹が好きで校門から前庭など見ながえるようにと、のいました。土木校長、ゴザルなどと愛称しました。昭和八年奉天中学の校長室にお訪ねした時、「お前の名前はおぼえているよ。悪い奴ほど忘れぬものだ、ワッハハハ」と笑い飛ばされた。最後は早稲田中学の校長、斗酒をお辞せず、豪傑でした。

教頭鈴木諒先生(モンドさ)、名舎監長、村松中学の校長に転出昭和十年安房中学の校長官舎にお訪ねしてビールのご馳走になりました。訥々誠実なお人柄で、私が数学に興味をおぼえたのは全くこの先生のおかげだと思つています。私は三年の三学期に寄宿舎に入りました。五年の二学期に退舎させられました。舎監の田村又四郎(イモムシ)高橋重松(チョーマツ)徳本正俊(トクチョン) 齋藤栄治(シヤモ) 渋谷哲司(カバ)などの諸先生には特別お世話になりました。

一、私共が受験をした年が50周年に当っておりまして、小学校の担任から「意義ある創立50周年記念式典に遭えるのだから頑張つて合格せよ」と厳命されたものでした。当時の式典には3年生以下は直接出席出来ず、東控所でスピーカーによる実況放送を聞かされた程度でした。中央で活躍していた大人。

先輩に依る記念講演がありました。一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

55回 早福 卓  
新潟市議会議員

二、(イ) 恩師は当然ですが、憎師と云う新造語もあつて良いと思つ

ます。だが、過ぎて仕舞えばキスケでさえ懐しい気持ちで一杯です

二、(ロ) 当時の5年生は青山精神の王政復古を唱え、パンカラの人多勢いました。一番恐しかったのは小島ニクさん。古式豊かな切腹の仕方を教えて呉れた熊木さん。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

唯々秀げ上るのもやんぬるかなと思つのみですが、予定されている諸計画を成功させ、他校に負けな

い創立記念となるよう協力したいと期しています。

二、(イ) 事件や問題は何時の時代でも汎山あるものです。私の考えでは、新中のボート事件に匹敵する程の価値があると思へるのに、「学校スト回避」のエピソードがありました。と云うのは、4年生の年に日本は敗戦になり、私達は軍隊や軍学校そして工場から学校へ久し振りに戻りました。当時の荒廢目混乱した社会風潮の中で当然の事乍ら戦争中の無節操な教師に

対し責任を追求する運動が全国的に拡がり、県内でも新商を始め相当数の学校がストを行いました。私達は、県下第一の中学であり他校の後塵を拝せるものかと言う誇りを持ち、講堂に於て先生と今で云う集団団交を行つて質す可きは質して無事事態を回避しました

二、(ロ) 恩師は当然ですが、憎師と云う新造語もあつて良いと思つ

ます。だが、過ぎて仕舞えばキスケでさえ懐しい気持ちで一杯です

二、(イ) 当時の5年生は青山精神の王政復古を唱え、パンカラの人多勢いました。一番恐しかったのは小島ニクさん。古式豊かな切腹の仕方を教えて呉れた熊木さん。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。

三、希望してもムダでしょうが

一言、中央高校が今でも「男子禁制」の伝統を守っているのですから、県高も「男子専門」の学校に拍手多数。





35回 小山久一

旅館 小莚主人

「あの小山でさえもこう云う事はしないぞ」とは河馬(坂口安吾の名付け親として有名)が悪太郎を叱るのに用いた言葉であった。この程左様に手の付けられぬ中学生だったボク。——五十年に近い茫々の年月のモヤをすかして走馬灯の如く、然しクッキリと思いつける情景を頭の中に持って居る——

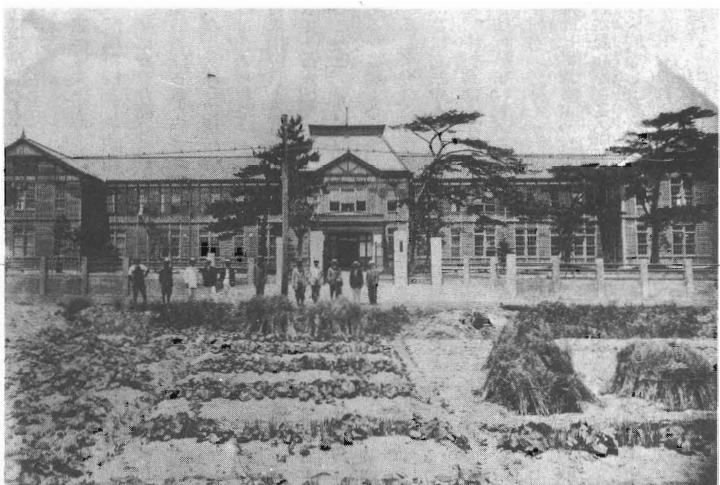
小学五年頃から立川文庫に熟中して成績は段々下がる、見かねた磯の寅松先生が本を全部取り上げた代りにロビンソンクルーソーを呉れたがそれでも文庫は止められない、お陰で歴史講義は詳しく「取レンの臣あらんよりむしろ盗臣あれ」だの「狡兎死して走狗煮らる」だの今の大人も大学生でも知らない言葉を知って居たし「あわや落花狼せき、けしからぬ振舞い」なども何の事だか知って居たんだから恐ろしい。卒業したら何になるなどテンデ頭でない中学生

平沢の興さま(後の京大総長)から盛年再び来らず、久ちゃん勉強せいでと入学を祝った励ましの手紙も何のその。文庫を卒業すると今度は黒岩涙香のジウマ物——ルパン、ホームズから森下雨村(谷譲次の新青年)そこ迄はまだよ

いととして仕舞いには壇の浦まで読んでたとは許せない——その間化学室から水銀を盗んで(何の為だったか分らない)カメレオンに厳罰保証人呼出し——小使いの自來也

に一升買つて眠らせ夜中に銃器庫で仕舞つた。当時は未だ明治的藩風去り止まず新商との対抗野球が砲して停学——仙台の鳴子で酌婦をあけて大乱チキ、宿屋で待ちかまえた河馬に二網打盡にかまひあろう話でない。——それでも英語と歴史は何とかゴマ化せた事とどうせチブスで長期休学したついでに、早く卒業して嫁を貰う事になつて居る高島に同情して答案をスリ替えて彼の進級の犠牲になつてやったのが唯一の美談?であらうか。その後も数々の悪業を重ねたが学校側でもホトク降参したのか一年遅れて遂に卒業させられた。

に一升買つて眠らせ夜中に銃器庫で仕舞つた。当時は未だ明治的藩風去り止まず新商との対抗野球が砲して停学——仙台の鳴子で酌婦をあけて大乱チキ、宿屋で待ちかまえた河馬に二網打盡にかまひあろう話でない。——それでも英語と歴史は何とかゴマ化せた事とどうせチブスで長期休学したついでに、早く卒業して嫁を貰う事になつて居る高島に同情して答案をスリ替えて彼の進級の犠牲になつてやったのが唯一の美談?であらうか。その後も数々の悪業を重ねたが学校側でもホトク降参したのか一年遅れて遂に卒業させられた。



大正12年当時の校舍

38回 山口五郎久長

遠藤工業(株)

二、(イ) 今を去る四十年前の事であるから、ここに発表する窃盗事件は既に時効にかかっていると思ひ願ひたい。当時「寒中では」各教室にダール・マス・ストーブが置かれ、小使さん(今の用務員)が石炭箱を肩にかけ巡回しながら、センバ(十能ともいう)に「二サジ、三サジの石炭の破片を投げこんでいく」とにより暖を取るならわしであった。熱血たぎる青山健児と雖も人の子である。寒い事に変わりはないまして夏シャツ一枚で越冬を試みるという豪傑も居たから身にこたえる事一しおと思われた。この寒さを凌ぐには石炭の増量しかない。小使さんに陳情しても所詮受けつけられないことは分りきつて

業のベルが鳴り巨る。あわて、これを教壇の下にかくしこんだ。折を見て粉砕する予定であった処がある——第五時限(昼休み直後)今ははじき小島スケート先生(数学の時間であった。知る人ぞ知る先生は黒板の左端からきれいに数字を書き並べ、次第に右の方へ移行していく習慣)がありこの為には教壇の左端から右の方へ歩き進む事になる。具合が悪いことにどうせ頂戴?するならというので欲で持って来た奴が壇の下にはいり切れず、ここで壇が上下にギツコン、パツタンする破目になったのが運のつきであった。

「何故こんなことをやったのか」「みんなが石炭の量が少なくて寒くてやり切れない勉強もロクに手がつかぬというからであります。(註)暖気は即ち眠気を催すが関の山の時代ではあつたが——」「何処から持ってきたのか」「水道部からです。」「誰と誰で運んで来たか」「一人です。」「二人で運べるわけがない。共犯は誰だ」「二人です。」「どうやって運んだのか」「ソリで運んで来ました。」「そのソリはどこから持ってきたか」「焼芋屋から借りて来ました。」「その芋屋とはどういう知り合いか」「時々焼芋を売りますので——」「かくて——この問答の当然の結果が、運搬に時間がかかり過ぎて始

られ謹慎三日の重刑。然も石炭を返しに行く時の重さは、持つて来た時の数倍に感じられ、その切なさ辛さ口惜しさは筆舌に盡し難く犯人で無ければ想像も及ばぬであろう。

そして——今日も又ジツと青空を仰ぐ。心の底まですき通るような青い空を——で始まる書き馴れた謹慎日記を提出したものである。余談だが——この日記の書き出しを引用した奴が居つたが生憎それが雨の日であった事が、バツ、主任にどがめられ、他にいい文句が見つからなかつたので言いわけした為叱りとばされた愉快な男だった。彼も今はじい。その時は犠牲的精神とか何とかと大義名分を樹てて居つたものであるが、青山隆児(危険児の略)の標本みたいな事件で今にして思えば正に慚愧に堪えない話である。

然し稚氣誠に愛すべく何ともはやよき時代ではあつたよと、餘人は知らず自分勝手に妄想にふける次第ではある。

48回 小池清泰

昭和石油(株)

二、(ロ) 現代の若者達に果して「恩師」という言葉が通用するだろうか。一時の狂熱に駆られ、先生に罵声を浴びせ、暴力をふるう彼等がむしる気の毒だ。尊敬と追慕をこめて静かに遠く昔、教を受けた師を想う。「仰げば尊し吾が師の恩」歌いながらこみ上げる惜別の情に思はず涙した想い出を持つ我々は倅せだ。早立新潟中学校、それは県下だけに止まらず、当時

全国的にも伝統、学力、校風等に於て幾つかの名門校の一つに数えられていた。そして当然の事乍ら幾多の名物教師を擁していたわけだ。謹厳温容の典型、梅田ガンヂー校長。秋霜の如き厳しさの底に慈父の様な人間味を備えられた齋藤シヤモ先生。素朴でドコ臭い長野山賊先生。ゴリゴリとするアンデネアングラとぞと函をむき出して笑いながら釣物標本を生徒に廻した金沢ゴリ先生。堂々たる威丈夫中川キヨカン先生。クラーク博士の言葉を引用し、ガキ共ようぬぼれろとはげまされた丸山ガキ先生。夫々に強烈な個性を放ちながら、教職に自信と誇りを持つて教られた恩師達であった。

二、(イ) 秀才雲の如く集い競つた母校の旧友の中で今ははじき永井正夫のことが偲ばれる。永井は十日町から遊学して来た秀才で閑屋の辺に下宿していた。理科が得意で、旧制新高合格と同時に胸部疾患で倒れ、僅か数ヶ月で短かい青春を終えた。素朴な田舎者で、何を云われても穏やかに笑っていた。絵が上手で五年の秋県展に入選した。その時の水彩画を卒業の記念に貰つたのだが、以来転々居を変える間に紛失してしまつた。今は草深い南越の地に眠る永井の墓を一度訪れたいと思つている。

斯うして今は遠くに過ぎ去つた青春の日を想う時、それらの日々を彩つてくれた母校や恩師、旧友のことがかけがえのない大切なものであることを改めてしみじみ感ずる。

41回 本間敏雄

県立西川竹園高校長

陸軍大尉齋藤榮治先生は古武士の風格をもつていた。下級生時代には厳しかったが上級生になると生徒の立場を理解しよくその意見を尊重してくれた。

一、八十年の歴史と云う伝統は重いものである。しかし伝統の上にあくらかいてはなるまい。歴史を踏まえての進展がなければ形骸化した学校が存在するにすぎない。二、(イ) 慨嘆演説。軟派なものもよく殴られ下級生時代は震えあがった。しかし我々は卒業生になつた時、慨嘆演説をやつたが下級生を殴らなかつた。そう云う方針をとつた当時の理事長(昔の生徒会長か)は偉かつたと思う。二、(ロ) シヤモ一齋藤榮治先生



最近の校門附近

45回 金沢徳太郎

加茂中学校長

一、わが母校も創立以来八十年を経過した。時の流れは、人の力で見えぬ。時の出来ぬのは当然であるが人の世のうつりかわりのはげしさには、ついていけない思いが近頃しきりとする。年令と思考の柔軟性のきびしい関係ではないだろうか。七十周年だ八十周年だところあげするむきに抵抗を感じながらも、そのおろふし気分を新たにするのも人間の人間たるゆえんのようにも思われる。いわゆる科学的・合理的な考え方の中にひそむ非合理的な一面のあることを端的に表わしていると思う。私の心境では、事あらためて感ありというのにも不自然のようにも思えるしまたそれを否定しきるきつぱりとする。

二、(イ) 同輩小池郎郎兄は東大航空科を卒業して後新鋭航空機を製作し、試乗中昭和十六年頃東京湾上で殉職した。秀才だつたが平素悠々とした人物だつた。殉職前に静かに死生観について話していたが今でもその言葉が心に残る。三、時代は変わり、世は進展しているがその昔質実剛健を信条とした青山精神の流れを汲み、剛毅その信念を貫く情はもちたいものである。

46回 高橋是成

市立白山高等学校長

一、現在の学校を母校と呼ぶにはあまりにも遅い過ぎる。男女共学三年制等々は時代の流れ、社会の変遷で致し方ないことだが、せめて昔を追憶する寄り所としたい。二、(イ) 二年生のとき、二・五六事件を翌朝代議士の息子である級友から聞き、現職大臣が殺されたなど信じられなかつた。新聞に報道されてからもその意味が理解できなかつた。校内では先生方が次々と出征されるのを校旗を先頭に

した心もないように思う。さわあれ、九十年、百周年も年々とも必ず続いてやってくるであろうが、母校の発展を思う心は、決して人後に落ちぬつもりである。二、(ロ) 齋藤先生の「教練」における強烈な指導には、絶対に忘れ得ぬものがある。三、人間教育と受験教育のよき調和をせよはかつていじだしたい。それには教師と生徒との真の人間的なつきあひがあつてこそ期待されるように思う。通念的には、現代化と人間関係はあまりとけあわないように思える。それだからこそ、すばらしい現代的感覚で創意工夫をこらし、一步一歩よりよい真の人間教育をされるよう、心から期待したい。



学校焼失 昭29.4.4

33回 山田又一

新潟県教育百年誌 編集委員

二、(イ) 忘れ得ぬ男のこと。その男を仮にOという名前にしておく。Oは私の知る限りにおいて、まことに特異な才能を持つていた人物であつた。試みに彼の歴史の教科書を開いてみると、各頁の人物という人物が、ことごとく見事にペンを以て漫画化され、それがまた全部顔だけでなく服装まで一変して、伊藤博文は茶人めい髪を結い、茶人らしい羽織で立つていたり、山縣有朋は女の髪で顔面しわだらけの意地悪婆アに化けていたり、多勢の写真であつても一人一人みな違つた風に漫画化されて、その腕の冴えは全く見事という外はなかつた。

私の同級には、変つた男も多かったが、Oの如き特異な才能を持つた男は稀であらう。卒業する時に、特に乞うてその歴史教科書をもらい受けて、私は愛蔵していった。しかし終戦の時の

ドサクサにまぎれて、遂に所在不明となつたのは、何としても惜しい限りであるし、早逝した彼に再び執筆を依頼する術もないのは残念である。ほかの学科は不振でも、何か他の者の真似のできない才能ある人物がいる——中学校へ入つて、私はこのことを強く感じ、人を教えるような立場になつてからは特にこれを肝に銘じて仕事に当るようになった。

私は今もOがもつと長生きをしたら——とその早世を惜しむと共に、人間を見る眼を変えさせてくれたOの恩を忘れ得ないのである。

49回 小林直一

白山神社宮司

一、昭和十七年三月に卒業しまつたから、あれから三十年も経つてゐる事に驚いてゐます。青山が八十周年を迎える時に、青山の伝統とは一体何であつたかとも考えます。思いのまま書けば、自由があり高潔、純粋、質実剛健であつたという様な言葉がでてくるし、それが言葉に終らずに、伝統という様が感覚で感じとられた点に、青山の懐かしさがあるのであります。

赤い線の入つた帽子や洋服を着て、得意気に歩く朴歯の高下駄の少年時代は、遠過ぎ去つたのだと今更乍ら、八十周年の長さを考えます。中日戦争に入つた年に入学しあ

51回 細貝繁男

新潟県庁農政企画課

一、五十二回卒である小生は、在校中に五十周年を迎えたが、戦争たけなわの時だけに、その当時の印象はあまり残つていない。ここに八十周年を迎え、卒業してもう三十年になるのかと馬骨を重ねたことのみを時は反省している。

二、全国大会優勝校の伝統を有する柔道部のマネージャとしては、県下の大会にまず優勝しなければならぬ。十八年の県大会は戦時下のため、体位向上をねらつて、一定時間内でマラソンを走破すること、屋外運動場で行なわれた。炎天下のもと二回の代表決定戦の結果遂に優勝し、全国大会出場権を獲得し、一応の責任を果たすことができた。(その後戦局急変を要し全国大会は中止となる)三、幼い時の友を竹馬の友、青年期の友を刎頸の友という。在校時代に一人でも多く真の友達をつくつてほしい。友情ほど美しいものはないのではないか。

# 厄落とし

## 玲瓏会

五八回卒の会を玲瓏会(幹事長 日喜美青柳広土)という。毎年五月一八日に会合をもって、たがいに消息を尋ね合う。

今年の玲瓏会は厄払いのための会合となった。ついに、われらは満四十才になったのである。

玲瓏会と、われら五八回卒の会に命名したのは、たしか木村善章君だったと記憶しているのであるが、厄払いの儀式も木村和尚によつてすすめられた。

力弥店に急ごしらえの祭壇の前で、一同が正座して四十分近くも経文の朗唱を聴いたのである。みんなが神妙にしてかしまつていたのは、満四十才になったことさみしき故だったかも知れない。四十才になった仲間たちには、社長や専務などの管理職が多い。大学の助教授もいるし、高校の副校長もいる。もう、さびしさのわかる年頃である。

渡辺・川島尚先生は、母校の教壇を去られて、悠々の生活を送られていると聞いた。お元気でいられる。われわれが高校生だった頃の風格をそのまま持っていられる。人生に疲れているのは、われわれの方ではないかと、ふと思ったりする。

宴たけなわになると、三浦先生と、沢山先生が姿をみせられた。

飲む程に、みんな、昔に帰る。みんな、昔の中学生に、往時の高校生に戻るののである。政界入りを決意した福田満君であるが、選挙の話はひとつもない。天衣無縫の福島惣吉君が、しきりに「おれは町会議員になるぞ。」と叫んでいたぐらゐのものである。

老齡の金沢禄郎先生をお見舞い

しようという話がまとまると、今年の玲瓏会は、きれいに幕と落ちた。

翌十九日、福田、福島、青柳、曾我、斎藤の五名で、金沢先生をお見舞いした。

先生の、純白の頭髮とあこひげはまぶしいほどであった。アインシュタインは先生のようでなかったらうか。

満九十才を迎えられて、なお、かくしゃくとしていられる。柔道の福田、悪童の福島というように、金沢先生は、教え子と覚えていられた。故石浜統君のことで、金沢先生は、しばらく思ひ出にふけられておられたことを特に、ここに記しておく。

(斎藤俊一記)



野球部同窓会青山倶楽部は昭和四十七年六月十六日、清水フードセンターに於て、本年の総会を開き、青山松一即会長以下、十三名が出席した。野球部同窓会は、二十年程の間、中断はあったが、大体毎年少くとも一度は集まっている。若い同窓の顔ぶれには毎年変化があり、又、以前に会っていても、一年一度の集まりでは、顔を覚えきれぬこともあり、恒例の如く自己紹介で会は始まった。司会者は皆川登良夫さんをお願いした自己紹介中、若い同窓生から、自分は明治四十年に非ず、昭和四十年の卒業生であるとの言葉があった。当夜、野球部第二の長老、明治四十五年卒の鎌富清一郎さんが出席されて居り、そのことをふんまえての発言であった。野球部

の歴史は古い。

又、出席の志賀野球部長、田村監督より、野球部の現況につき、説明あり、昨年は県代表決定戦で惜しくも敗れたが、今年は昨年にまさる力あり、甲子園を狙ふに足るとの話があった。會員の間より野球部が好成績を取れば、八十周年の記念に花を添えることになった。頑張つて欲しいとの言葉があった。

野球部青山倶楽部は先ず第一に親睦の団体である。以前、在校生を交えての紅白試合を企画したことも二度程あるが、先輩諸氏は忙しい為か、腕前の衰へが足を停めるのか、出場者少なく、以後中止している。年一度の総会にはなるべく多数の方が出席されるよう、願っています。

# 明治は 遠くなりけり

近県野球大会に優勝 (大正10年)



若き日の会長 (右より2人目)





# 悪童カッパ連集う

## 在京青山水友会

暖冬異変とスモッグの二月都心直氏(三〇回)から北井一郎氏  
渋谷の万葉会館に最長老の山添 五八回まで往年の河童連相集う



開会挨拶後満場一致で山添さんを青山水友会東京支部長に推薦する。泳友持参の水友会誌に目をとおり乍ら、五〇年前に想を馳せつつ当時の模様を断片的に語られる山添さん、そして稍々あって、『この記事は間違っている。本当はこうなんだ』と生辞引振りを披露、そして傍らから同年輩の笠原さんが相槌を打つ。

又四七回の木村和郎さんと山添等原面先輩が妙に話がはずんでい、その筈である木村さん兄弟五人悉く水泳部でその長兄次兄はとも、面先輩と同時代とか。

『新潟の堺時雄さんは健在でおられるか』  
『君たち神伝流を知っておるか』  
『吾が国古来の古式泳法から現在

のクローラへの転換時、その技術を広く紹介するため、原書の翻訳に努力された同氏ならではの談であろっか。

宇佐美氏の談たまたま五十風チヨシジンに及べば河内、高野、鈴木、梅田、今井の諸氏と共通の想い出をもつ。

『あいつが生きておれば、こうい席には真先に顔を見せるんだが惜しい奴だった』  
『華麗なフォームで速かったが助平で大成しなかったが併し誠に愛すべき奴だった』とか今泳いだら誰が一番早いかの声に、それは決まっている、万年青年でかつ末端肥大症の河内さんだろうと意見が一致。

### おめさん だれらね?

59回卒 関西同窓会  
59回 神田悌三

#### (1) 発端

大田圭介から電話。はてと、大田圭介の四字、一字一画間違いなめ、互いの詮索はこの次にして、か出て来ない。気まずさ、もどかしさ。渡辺敏男の電話もそうだった。『新潟高校の神田さんという

と何年卒? 私は二十六年ですけど』  
『無理もない。卒業の方 はじめて電話で聞く声だ。横井伍長の言葉と同じ位時間の重みを感じ

たがいの健康を祈り次回を約し  
散会す。(水野記)

#### (2) 序の章

大塚満弥こと通称ヒヨツツこそ本会結成の推進者であつて、当日は勤めにも出ないでこの機会を待ちこがれていたものだが、『五月

ずる。かくて関西に住んで久しい青陵健児OB五名の所在をきくと、お、お前さんよ、なつかしや、それならば近い内にと、相談はべんききまつた。

#### (3) 破の章

一人が気をきかせて持参した昭和二十六年二月二十八日付第三回卒業生一覽表と、記念アルバムに喰入る八つの眼があった。TPは死んだぞうな、佐野先生は今も飛行機の通り道を追っているのだろ

うか、飯村康一はシルバーホテルの経営でホテル王になったそうだが、なつかしい恩師や友達の名がひたひたに飛び出す。友達の名前がひ



学校封鎖

という店の名が「玉月」に見えて探しあぐねたなどといいながら一番遅れて顔を出した。名ラガーの面影をのこす大田圭介はすぐわかるといふ。何せ、安定感のある足のひらをもった男だろうと感心したもんで。

ところがもう一人の田辺四郎の名前がどうも出て来ず弱つていた。無理からぬこと、この日集った四人の内、三人までが先生泣かせといわれた佐野、揃いも揃って卒業式に出た記憶がない、しかるに田辺四郎は十二人の学業成績優秀者の中に輝かしい名を連ね、磯校長より親しく激励を受け

た。大田君、福助の下着類を持参して欲しかったな。寸法勝手にきめられないの、その内戸別訪問させてもらうさ、神田君は輸出というカラで、

ではない筈だが、されば文筆をたまえ、即ち歌集「多神教」大島洋一が洋服屋になったのは、中学、高校時代にパンツや洋服がくじびきで、そんな境遇を克服しようという意欲の現れだよ。

「さすが新潟人だ。おれも強いといわれるが、君達もすごい。これだけ呑んで一人も参ったとはいわないな」  
もう一つところで、がある。渡辺敏男からのメッセージであった

彼は当日急に東京出張で不参加、その代り近日中に、もう一度集まつて欲しいと。そこで大塚満弥の提案あり、「みんな、神戸へ来いや、神戸からケールで有馬へ行く。カーチャンも連れて来い」  
再会の約束さえ出来れば、おきまりの二次会は、お色気もある北の新天地、次いで腹ごしらえのためお初天神横のすしや。以上典型的な大阪の夜のコースであった

そこで別れて二人は南へ下り堺市へ、二人は西方兵庫まで。眼覚めたときにはふつかよといとは

昭和四十七年二月二十六日、新潟高校第59回卒関西同窓会が挙行された。とりあえず左記五名で構成するが、大阪といわず、関西といわず、西日本に住む59回卒生を糾合して東京青山同窓会同様の大ネットワークを結成したいので、同窓生諸兄の御連絡をお待ち致します。(敬称略御免)

大田圭介 堺市、福助株式会社 人子供靴下部電話(〇七三二) 三三一一二四一  
大塚満弥 神戸市、神戸市都市整備公社事業課電話(〇七八) 三九一五三三六  
神田悌三 大阪市、丸紅株式会社 大阪鉄鋼部電話(〇六) 二七一  
田辺四郎 大阪市、日商岩井株式会社鉄鋼貿易部電話(〇六) 二〇一一二〇一  
渡辺敏男 茨木市、大和紙器株式会社販売第一課電話(〇七三二) 二四一一二〇一

要 点  
昭和四十七年二月二十六日、新潟高校第59回卒関西同窓会が挙行された。とりあえず左記五名で構成するが、大阪といわず、関西といわず、西日本に住む59回卒生を糾合して東京青山同窓会同様の大ネットワークを結成したいので、同窓生諸兄の御連絡をお待ち致します。(敬称略御免)

# 文芸

## 悔 恨

58回 齋藤 俊一  
(油川小学校勤務)

刀傷のある頭蓋骨  
合戦の荒野で  
血に濡れた  
カラスに突かれた  
刀傷に違いないと  
鑑定書にある  
すつぱりと切られている

## 少年の頃

親しさの証明の  
一献一献の酌交しが  
上だけの感激をつくり  
核の抜けた心情を吐露させ  
つよがりを言わせ  
しびれた気持ち  
ふと、きよらであった少年の頃を  
思うと感激は哀しみにかわり  
つよがりはなげきとなる

進化発達展のガラス箱で  
チンパンジーの頭骨と  
犬の骨格と  
山淑魚の標本と  
魚のアルコール漬けと  
蛍光灯に照らされている  
黄色い歯を噛み合わせて  
悔んでいる

水気で重いアカシヤの樹皮のよう  
な  
ポツクリとはがれる外面であるな  
らば  
ぬきすてて  
ほんのしばらくでも  
少年の頃に帰ろう  
だが、熱っぽく、赤い目に映する  
己は  
幾層にもかたく包まれた生けるも  
の  
もう、自分自身でもわからない己

顔も知らない主の為に  
下知を受けて走った、  
叫びつづけた  
敵陣で突いた、斬った  
すつぱりと割られたとき  
やつとそのとき  
頭蓋骨は  
その日までに  
何を為遂げたかを考えた  
刀傷のある頭蓋骨は  
時間が切れても  
思い出せなかった  
黄色い歯をしつかりと  
噛み合わせて悔んでいる

## 夜 の 歌

志田 耕吉  
(本校教諭)

疲れしも酔ひしもともに揺られるこの平安よ涙ぐましも  
酒飲みて疲れて帰る沈黙の孤りの影は吾にあらすや  
回想がいつもこだわる一つことかのいやしきがなせしたくらみ  
暮れてなほ残れる空のほの明かりはつかに雲は移りゆくらし  
障子戸を開くれば照らす月かげに庭面はすがし水打ちしごと

At Beer Garden  
齋藤散浪子  
本校教諭

麦酒党刻々たまり海昏る、  
若き咽喉  
てんでにたぎつ生ビール  
生ビール柔媚の多くば愁ひあり  
生ビール星座降るがに仰ぎ酌む  
生ビール運び運べり右往左往

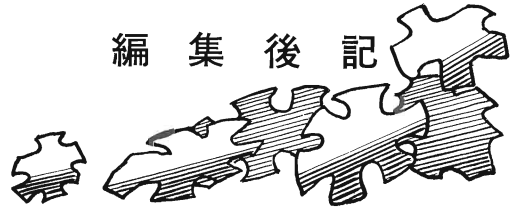
## 昭和46年度 青山同窓会費納入者追加分

(年額1口 500円数字は納入口数)  
(1月～3月納入のもの)

期別 氏名 期別 氏名 期別 氏名

26	1	苧部信雄	46	1	加茂井三郎	64	2	猪瓜隆也
29	2	朝倉良三	2	2	広川敏成	2	2	瀨山庸二
31	1	金山五郎	2	2	新高津義雄	2	2	桂重則
32	2	山田輝親	2	1	土谷幸治	1	1	関篤司
33	1	高橋真二	1	1	渡辺純	2	2	右田史郎
34	2	木村二元	1	1	土屋信義	1	1	安藤彰
35	2	岡四亥	1	2	小野芳一	1	1	浅井哲
36	2	宮尾正雄	2	2	永井淳一	1	1	横山規子
36	2	渡辺尚敏	1	1	神林弘三	8	8	新井津一
37	2	細野哲雄	1	1	石本木村	9	9	山田中
38	2	細野哲治	1	1	田加藤高	9	9	吉田ヒミ
39	1	近藤敬一	1	4	池田厚元	10	10	樋高木
40	2	小沢太郎	2	2	池田石川	12	12	高奇田
41	1	田中映修	1	2	山崎敬忠	8	8	山井津
42	2	八串次夫	2	2	石田昌			
42	1	豊岡憲夫	2	2	加茂井三郎			

## 編集後記



▲梅雨たけなわ。母校創立八十周年も本番十月十一日の記念式典にむけて進行中。母校では現在青山会館建設の槌音が高らかに響いている。  
▲記念事業の一環として本会報も変身。かねて会員諸氏からあった要望にこたえて体裁を面目一新。長期保存に便かと考えての試み。保存用厚表紙を考案中。乞御期待

▲本号「八十周年を迎えて感あり」特集記事を契機に、埋れたる「ピソード」を発掘し、記録にとどめた  
▲「校内幹事六九回上杉雅之」  
▲「校内幹事六九回上杉雅之」  
▲「校内幹事六九回上杉雅之」